★百花繚乱★バラエティ豊かな短編 25 作と、短編小説を映画化した長編オムニバス『そばの花、運のいい日、そして春春』を名古屋初上映！

花開くコリア・アニメーション 2016

日韓アニメーション界の架け橋となるべく始まった「花開くコリア・アニメーション」も名古屋での開催は 7 回目を迎えます。本年は、韓国唯一のインディーズ・アニメーション映画祭「インディ・アニフェスト」最新上映作から短編 25 本を、「色彩の中の秘密」「あなたは遠くに」「懸命に生きる」の 3 つのテーマでお届けします。「懸命に生きる」は、昨年インディ・アニフェストに参加した評論家・土居伸彰氏セレクトによるスペシャル・プログラム。韓国の歴史や文化を色濃く反映した作品から、色彩感覚・表現技法に優れた作品、普遍的な人間の営みや感情にフォーカスした作品まで、多彩な韓国アニメーションの世界をお楽しみ下さい。また、韓国近代文学を代表する小説を映画化した長編『そばの花、運のいい日、そして春春』も特別上映。監督、評論家、研究者によるゲストトークも開催いたします。

■概要

会期：2016 年 5 月 28 日（土）・29 日（日）
会場：愛知芸術文化センター 12 階 アートスペースＥＦ（地下鉄・東山線または名城線「栄」駅下車、徒歩 3 分／TEL 052-971-5511）
料金：1 プログラム 一般 1,000 円　学生 500 円　※ 当日券のみ
公式サイト：http://anikr.com/
問い合わせ：シネマコリア（西村）TEL 090-1863-7855

主　　催：韓国インディペンデント・アニメーション協会（KIAFA）、シネマコリア、愛知県美術館
後　　援：大韓民国文化体育観光部、駐日韓国大使館 韓国文化院、日本アニメーション学会、日本アニメーション協会
協　　力：ANIMATION TAPES、韓国コンテンツ振興院（KOCCA）、土居伸彰（ニューディアー）
字幕協力：ゆうばり国際ファンタスティック映画祭、東京藝術大学大学院映像研究科

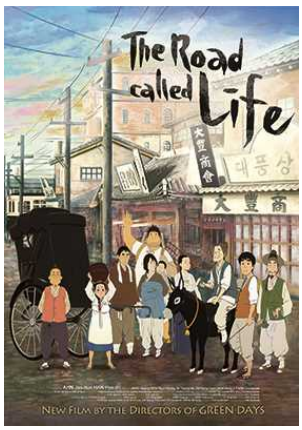
《見どころ１》韓国でしか作れない秀作

ゲストのキム・ヘミ監督作『Little King（原題 舟橋伝）』（画像）は、朝鮮王朝第 22 代国王・正祖（チョンジョ）が、宮廷闘争に敗れ米櫃の中で憤死した父・思悼世子（サドセジャ）の墓を詣でる際、漢江（ハンガン）に舟を並べて臨時の橋を造ったという故事を元に、ある少年の親孝行を描く。インディ・アニフェスト 2015 でグランプリを受賞した本作は、伝統芸能パンソリの調べ豊かな韓国式ミュージカル・アニメーション。その他、太平洋戦争における朝鮮人の特攻隊員を描いた『環』、2014 年に起こったセウォル号沈没事件をモチーフにした衝撃作『非正常』、アメリカに留学した幼い娘と付き添いの妻に、仕送りを続ける父親の悲哀をコミカルに描き、韓国では劇場公開された『トイレコンクール』など、韓国でしか作れない秀作の数々にご注目ください。なお、5 月 28 日（土）の短編プログラム１「色彩の中の秘密」上映後にキム・ヘミ監督のトークを開催します。

《見どころ２》土居伸彰氏セレクトによる珠玉の短編集

米アカデミー賞ノミネートでも話題となったブラジルの傑作アニメーション『父を探して』を配給するニューディアー代表・土居伸彰氏。彼が作品選定を担当したスペシャル・プログラム「懸命に生きる」には、アヌシー国際アニメーション映画祭に招待されたオカルト・ホラー『繭』、ザグレブ国際アニメーション映画祭に出品された、少女と動物たちの物語『Material Girl』、眠気押し寄せるたいくつな午後の講義を描きザグレブ国際アニメーション映画祭で審査委員スペシャルメンションを受賞した『Afternoon Class』（画像）など、短編アニメーションの新たなる可能性や、表現法の多様性、そして監督の才能を感じさせる珠玉の 9 作品が勢揃い。5 月 28 日（土）の土居セレクション「懸命に生きる」上映後は、土居伸彰氏によるトークも開催します。

《見どころ３》韓国近代文学とアニメーション



日本でも DVD が発売された『Green Days～大切な日の夢～』のアン・ジェフン監督が、韓国・教育放送局 EBS との共同企画で制作した『そばの花、運のいい日、そして春春』を日本初上映。韓国近代文学を代表する 3 編の短編小説『そばの花の咲く頃』（1936 年／李孝石（イ・ヒョソク））、『運のいい日』（1924 年／玄鎮健（ヒョン・ジンゴン））、『春・春』（1935 年／金裕貞（キム・ユジョン））をオムニバス形式でアニメーション化した作品で、原作小説の邦訳は『朝鮮短篇小説選（上・下）』（岩波文庫、大村益夫・長璋吉・三枝壽勝編訳、1984 年）に収録されている。日本統治下で、大きな変化の時代を迎えた朝鮮社会の姿と、そこで生きる庶民たちの悲喜こもごもを、独特の映像美で描き出した意欲作。5 月 29 日（日）には本作上映後、名古屋韓国学校の校長で、愛知大学などで教鞭をとる李孝心（イ・ヒョシム）氏による解説トークを開催します。